

目標： 主イエスは救いを待ち望む者に来られる方であることを知る。
 聖句： 「わたしの目が今あなたの救いを見たのですから。ルカ2:30」
 時間： 10分
 道具： ホワイトボード、ペン
 対象者： 小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5
 留意点

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	先週はクリスマスでした。 イエス様は誕生して8日目に、神殿に行きました。 なぜ行ったのか知っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・初詣 ・律法を守るため ・分からない ・近かったから 	<p>クリスマスは大きなイベントなので、場を和ますため雑談の題材に用いても良いだろう。 この問いで、子供たちのこの物語の習得度合いを確認する。</p> <p>神殿で捧げたのが鳩だったことにより、聖家族の経済状況が読み取れるが、今回はシメオンとアンナに集中させたいので、特に触れない方がよいと思う。 テキスト研究で、シメオンが老人ではない可能性について言及されているが、伝統的理解の方が混乱しなくて済むと思うので、老人シメオンで統一する。</p>
課題探究	6分	<p>神殿で見知らぬ老人が近づいてきました。 シメオンという名前の老人です。</p> <p>老人が幼子を抱いて祝福を祈るのは、よくあることでした。普通と違っていたのは、祈りの内容です。 どんな点が違うと思いますか。</p> <p>このあともう一人、アンナという老女も、シメオンと同じようなことをしました。 聖書には、なぜシメオンがこのように深い祈りをしたのか、理由が記されています。 ずっと長い間、イスラエルが救われることを待ち望んでいた人だったと記してあります。 救いを待ち望む人に、神様は、救い主をお送り下さったのです。 神様は、救ってほしいと願う人に、救い主を必ず送って下さる方です。 だからみなさんに質問します。 あなたは、今、何から、救われたいと思っていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会えてうれしいではなく、もう死ねると言っていること ・この子が神の救いだと言っていること ・この子は万民のための救い ・この子はイスラエルの光栄そのもの ・子供の将来の預言をしている 	<p>祈り(29～32)を書いた紙をほわーとボードに貼る。 シメオンの両親への言及については、触れない。 それぞれ先のようになくとも、各人が御言一つ一つの意味を深く考えることができればよい。 異邦人が救われることを通してイスラエルが光栄を得るという構造は、難解かと思うので、触れないでおく。 この言及は、軽く行うにとどめる。</p>
まとめ	2分	<p>クリスマスに、神さまは独り子さえ与えて下さった真実な方です。私たちもそれに真実をもって答えていきましょう。 暗誦聖句</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ない ・勉強から ・お手伝いから ・罪から 	<p>かなりの外れな答えも出るだろう。それを活かしたい。 本当の願いなのかどうか、問い詰めるのである。 その操作を通して、自分の本心を探求する練習ができたと思う。 183号テキスト全体のテーマからの反映として、この事柄を信じさせたい。</p>